

《この様式の説明》

学校保健安全法にて出席停止措置が義務付けられている感染症（第一種～第三種感染症）以外の感染症は、学校で通常見られないような重大な流行が起こった場合、その感染の拡大を防ぐために、第三種感染症の「その他の感染症」として緊急的に措置をとることが可能です。

（本市におきましては、過去の経過より、第一種～第三種感染症に加え、感染性胃腸炎、溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症、RS ウイルス感染症、アデノウイルス感染症についても出席停止措置の対象になりうるとして、療養報告書の提出を求めています。）

この様式は、第一種～第三種の感染症及び感染性胃腸炎、溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症、RS ウイルス感染症、アデノウイルス感染症以外の感染症で、「その他の感染症」として出席停止措置を講じる事態が生じた際に、必要に応じて使用してください。

なお、この場合で、療養報告書の提出を保護者に求めることにつきましては、各学校園において必要とご判断された場合にご使用いただくことを想定して作成しております。

※このページは使用される際の説明事項ですので、保護者に渡す際は印刷していただく必要はありません。次のページだけお渡しください。

療養報告書

学校園長 様

年 組 名前

1. 感染症名： _____

2. 診断を受けた医療機関： _____

3. 診断日： 令和 年 月 日

4. 医師から指示があった療養期間： _____ 月 _____ 日～ _____ 月 _____ 日まで

※具体的な期間の指示がない場合は、登校の目安として示された内容の下記に記入してください。

--

上記4に記載した療養期間または登校の目安を満たしているので、_____ 月 _____ 日より登校を再開します。

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日 保護者署名

※医師による証明は必要ありませんが、保護者の責任でご記入ください。

基準を満たしていれば登校は可能ですが、 体調が思わしくないときは無理をせずに自宅で療養してください。
